

# しえいくはんず

No.33 2009 (平成21) 年11月30日

発行 調布市男女共同参画推進センター

〒182-0022 東京都調布市国領町2-5-15 調布市市民プラザあくろす3階 ☎042-443-1213  
fax 042-443-1212 メール danjyo@w2.city.chofu.tokyo.jp ホームページ http://chofu-danjyo.jp/

## 男女ともに認めあい

### ともに参画を！

メディアでは、いま草食系男子・肉食系女子などと女性が強く、男性がやさしくなっているかのよう表現されていますが、社会における男女の在り方は、本当に変わってきているのでしょうか？

#### 日本は男女共同参画後進国！

国連が発表するGEM(ジェンダーエンパワーメント指数)は、2008年に108か国中58位という結果でした。GEMを決める指標のひとつでもある男女の賃金格差は、「男性は、仕事。女性は、家庭」「男性は主要業務。女性は補助的業務」と

1	スウェーデン
2	ノルウェー
3	フィンランド
4	デンマーク
5	アイスランド
6	オランダ
7	オーストラリア
8	ドイツ
9	ベルギー
10	スイス

56	セルビア
57	ベネズエラ
58	日本
59	キルギス
60	ドミニカ共和国

#### GEM(ジェンダー・エンパワーメント指数)における日本の順位

(「平成21年度版男女共同参画白書」(内閣府)より)

いうこれまでに定着した性別役割分担の考え方を反映するものです。この弊害としては、男性たちが経済的負担を背負い込み、がむしゃらに働き続けることから過労死に至ってしまうケースもあることなどがあげられます。一方で家庭においては、家事・育児・介護を一人で担

#### たくさん聞いてみるを

〜レット・イット・ビー〜

私は、2歳の子どもを育てながら、家事や仕事に追われる日々を過ごしています。腰痛に悩まされ、日々重くなる子どもを抱っこするところが辛くなってきました。辛いなかで仕事では、課長や係長が荷物の運搬を快く引き受けてくれるので助かっています。課長や係長は、出産や育児の経験から、私の育児に関する悩みにも的確なアドバイスをしてくれます。私は、そのアドバイスを家に持ち帰り得意げに妻に伝えています……!?もしかして私のこと女性だと思っ

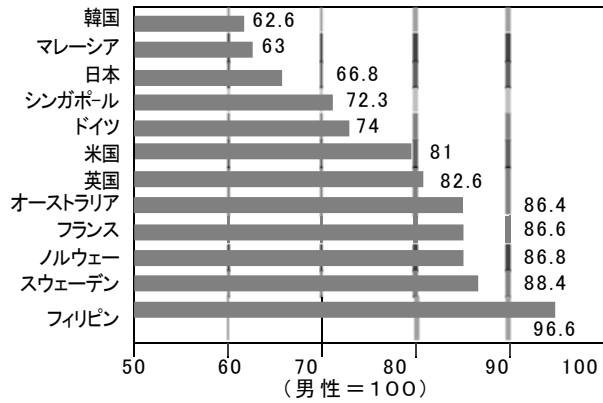
ていませんか？  
さて、話は変わりますが、育児って楽しいですよね……!?子どもはいずれ離れていきます。触れあえる時間は限られていますので、今は子どもと過ごす時間を大切に、主体的に関わっています。

しかし、育児や家族関係、働くことなど様々な場面で辛いと感じる時もあります。父親、息子、男性など、それぞれの役割の中で悩むこともあります。そんな時“レット・イット・ビー”と自分に語りかけています。そうすると気持ち楽になり、自分が楽しくいることが周囲も楽しくすることに気づきます。「我思う、故に我あり」です。

男女共同参画推進センターでは、今回の「しえいくはんず」でも紹介しているように、一人ひとりが自分自身の力で解決の糸口を見出すきっかけとなる様々な事業を実施しています。辛いとき、悩んだとき、一度来てみてはいかがですか？忘れかけていた自分を思い出すきっかけになるかもしれません。



い閉塞感のなかで疲弊している数多くの女性たちが存在しています。



男女間賃金格差

(「平成19年度版男女共同参画白書」(内閣府)より)

### 男も女も仕事も家庭も

このままの社会のしくみでは、少子高齢化に対応していくことができません。そこで、世の中の半数を超える女性が、男性とともに、それぞれの個性と能力を発揮させ、責任ある仕事につくことが有効な打開策といえます。そのためには、生産性や効率を優先とする男性基準の社会構造・生活スタイル・意識を変える必要があります。

女性だから、男性だからと役割を決めることなく、男女ともに、仕事と家庭(家事・育児・介護等)の両方を担えるような社会になることが求められています。

調布市は、「ともに認めあい、ともに参画するまち、調布」を合言葉にさまざまな施策に取り組んでいます。男女共同参画推進センターでも、性別に公平な社会を実現するための講座・講演会を開催しています。ぜひご参加ください。

#### 【用語説明】

##### 固定的性別役割分担

男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分けることをいいます。「男は仕事・女は家庭」、「男性は主要な業務・女性は補助的業務」等は固定的な考え方により、男性・女性の役割を決めている例です。

##### ジェンダーエンパワメント指数(GEM)

女性が政治及び経済活動に参加し、意思決定に参加できるかどうかを測るもの。HDI(人間関係指数)が人間開発の達成度で焦点を当てているのに対して、GEMは、能力を活用する機会に焦点を当てています。

具体的には、国会議員に占める女性の割合、専門職・技術職に占める女性割合、管理職に占める女性割合、男女の推定所得を用いて算出しています。



## 12月からの講座のご案内



講座名	日時	講師
家族の関係と自分自身を見つめ直す講座Ⅰ(全2回) 「避けて通れない母娘関係一ほどよい距離をみつげるために」	12月3日(木)・10日(木) 10時～正午	海渡捷子さん(フェミニストカウンセラー・フェミニストセラピスト) つかま 代表
家族の関係と自分自身を見つめ直す講座Ⅰ(全1回) 「自立とは何か一息子に伝えたいこと・ともに考えたいこと」	12月12日(土) 13時30分～15時30分	沼崎一郎さん (東北大学大学院教授)
男性の料理教室(全2回) ～簡単で身体にやさしい健康料理	12月1日(火)・8日(火) 10時～13時	野田麗子さん(料理研究家)
非正規で働く人のための講座(全2回) ～安心して働きたい!	12月13日(日)・1月10日(日) 14時～16時	吉田郁子さん(キャリアカウンセラー) 小林元子さん(特定社会保険労務士)
世界を知れば日本がもっとわかるⅢ(全2回) 「変わり続ける中国～家族は、女性は、若者たちは」	1月23日(土)・30日(土) 13時30分～15時30分	秋山洋子さん(駿河台大学教授)
女性のための就労支援パソコン基礎講座(全7回) ～You can change!	1月12日・19日・26日 2月2日・9日・16日・23日 毎週火 10時～正午	調布パソコンサークル会員
<企画中の講座> 女性史を学んで未来を見つめよう～性別役割分担のルーツを探りながら (日程未定)		

☆講座の内容は、「市報ちょうふ」「調布市ホームページ」でも詳しくお知らせしています。

## 講座通信から 参加者の声



私と子どもと世の中と！  
～私らしさを探して  
(全6回・参加延べ128人)

# 4月から9月までに実施した講座・講演会



### 【その他の講座・講演会】

☆男女共同参画週間記念講演会「かっこいい大人になろう！自分らしく歳を重ねるために」・6月28日／参加95人

☆世界を知れば日本がもっとわかるI「アメリカはどうなる？世界を揺るがす不況、終わらない戦争、平等を求める女性たち」(全3回)・6月19日・7月3日10日／参加延べ107人

☆育休からの復帰準備講座I〜知っておくこと、やっておくこと・6月12日／参加6人

☆私の可能性、再発見〜私らしい仕事・働き方をみつけるために(全3回)・6月23日30日7月7日／参加延べ51人

☆過不足なく伝え、的確に受け取るためのアサーティブトレーニング〜人間関係を楽にする！(全3回)・8月25日、9月8日、9月15日(火)／参加延べ64人

☆働く人のための講座〜ストレスに負けない・ハラスメントに負けないために(全3回)・8月30日・9月6日13日／参加延べ52人

☆世界を知れば日本がもっとわかるII「今、私たちにできるのは知ること、そして忘れないこと」(全3回)・9月18日・25日・10月2日／参加延べ75人

りすることが勉強のツールになり、講座がなりたつことに驚きました。

●第5回「役割分担からワークライフバランスへ」6月11日(木)・竹信三恵子さん(朝日新聞社編集委員)

・長時間労働、性別役割分業が自殺者の増加や、うつ病、DVにまで及んでいること、女性の家庭での苦しみも無関係ではないことを知り、

社会を変えていかななくてはと思いました。

・心の中でもんもんと思っていたことを竹信さんがズバツと言ってくださってスカッとなりました。いきなり大きなことはできませんが、自分にできる小さな一歩を踏み出してみたいと思える元気をもらいました。

●第6回「講座を振り返って」6月18日(木)

・語る・話し合うということは不思議な力があると感じました。(ここに来ると力がわいてきます。

・母として、妻として、娘として……そういう役割から離れて、私個人で感じ行動することは何て気持ちのよいことか。人とコミュニケーションをとれることは何て嬉しいことかと改めて思いました。

・講師の話聞くのとは一味ちがって、等身大で今回のテーマについて学ぶことができて良かった。自己紹介をしたり、テーマについて話をした

・女性が稼げれば男性が仕事から解放される、というのが目からウロコで新鮮でした。

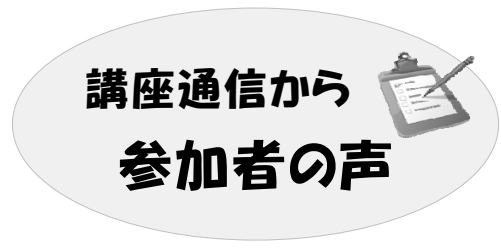
・子育て時期の夫の協力が夫婦の信頼感をうむということがわかりました。平日は朝から夜中まで仕事、休日は体をやすめ、自分の趣味もしたい夫に育児まで頼めません。社会・企業が変わることを望みます。

●第3回「男性の家事・育児参加で変わること」5月28日(木)・永井暁子さん(日本女子大学准教授)

・「私」ときよの「私」6月4日(木)・えくるよ(20年度「私と子どもと世の中」II講座企画・編集に携わった市民グループ)

●第4回「私らしさ発見〜いつもの私」6月4日(木)・えくるよ(20年度「私と子どもと世の中」II講座企画・編集に携わった市民グループ)

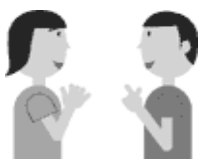
・毎日の中で、心が楽に過ごせるようになった気分です。気をまわしすぎるのが、コミュニケーションの障害要因になると学びました。



●第1回「自分も相手も大切にすることを」5月21日(木)・青木悦さん(教育ジャーナリスト)

・自分を大切にすることはできないのかもしれないと思いました。

・子供や夫に対して「幻の像」を押しつけるのではなく、私自身も「母」として妻としての理想像を追いかけ過ぎず、自分を大切に過ごしていきたいと感じました。



## 相談室から

### <女性のこころとからだの相談>

「最近、なんだか気力がなくて。休みの日には、1日ゴロゴロしてしまうんです。」「生理が不順だから、更年期?」「夫との会話もあまりなくて、気持ちが乗らないので性生活が苦痛です。」「子どもが、一人暮らしをはじめ、自分の時間がたくさん出来たのに、生活が楽しめないんです。」「赤ちゃんは可愛いけれど、自分の体が痛くて、それがつらくて育児が苦痛です。」「夫と死別したあと、好きな人が出来たんですが、生理がなくても性生活は出来るのでしょうか。」「夏なのに、体が冷えてとてもつらいです。」「赤ちゃんが、泣くのでずっと抱っこしているしかないんです。おっぱいが足りないんでしょうか」

育児中の人から、更年期後まで、幅広い女性が相談室に来てくださいます。赤ちゃんから老年期まで、女性の健康のパートナーである助産師の相談室です。

男女共同参画推進センターでは  
女性のための相談を行っています。

○原則予約制 ○無料 ○秘密厳守

【女性の生きかた相談】(1回 50分)

相談開催日:毎週火曜日 第2・4土曜日  
午前10時~午後3時50分

【女性のための法律相談】(1回 45分)

相談開催日:第1・2・3水曜日  
午後1~午後5時

【女性のこころとからだの相談】(1回 45分)

相談開催日:第3土曜日  
午前10時~午後3時  
※2010年1月のみ第5土曜日に変更

【女性のキャリア・チャレンジ相談】(1回 45分)

相談開催日:第1土曜日 午後1時~午後5時  
第3木曜日 午前10時~午後2時

○一時保育:あり(要予約)

○申し込み:月~土曜日(祝日を除く)  
午前8時30分~午後5時  
窓口または電話で受付

## 日々の保育 で思うこと

### 男女共同参画 推進センターの 一時保育



日々子育てに忙しい保護者の方にも「学びたい!話を聞きたい!子育て仲間を増やしたい!」という気持ちはあると思います。

でも子どもを預けられる人がいなくて一歩を踏み出せずにいませんか?そんなときには、是非一度保育室を利用してみてください。

初めは慣れない場所に戸惑うお子さんも多いのですが、興味のある遊具で遊び、他のお子さんに関わりあううちに少しずつ笑顔を見せてくれるようになります。不安そうなお子さんには保育士が抱っこをしたり、たくさん語りかけたりして、少しでも不安な気持ちを取り除けるよう心がけています。

保護者の方が講座に安心して参加でき、充実した時間を過ごすお手伝いができること、そしてお子さんが保育室で楽しそうに遊び愛らしい笑顔を見せてくれることは保育士にとっても嬉しいことです。

そんな保育室に一度いらしてみませんか。

【対象】1歳以上小学校就学前(要予約)

※ 講座講演会参加、相談利用の方のみ



〒182-0022  
調布市国領町 2-5-15  
調布市市民プラザあくろす3階  
(京王線国領駅北口徒歩1分)

最寄駅:京王線国領駅北口徒歩1分  
※車でお越しの場合は、ユクティー駐車場(有料)をご利用いただけます。  
※自転車でお越しの場合は、国領駅北口駐輪場(無料)をご利用いただけます。

TEL 042(443)1213  
FAX 042(443)1212  
Eメール danjyo@w2.city.chofu.tokyo.jp  
ホームページ http://chofu-danjyo.jp/

発行/ 調布市男女共同参画推進センター  
調布市男女共同参画推進センターは、調布市男女共同参画推進プランに基づき、男女共同参画社会を実現するため、講座・講演会の開催、相談事業、情報収集発信事業、市民活動支援事業を行っております。